

## 令和3年度修了式 校長先生のお話



校庭の桜のつばみも膨らみ、みなさんの令和3年度一年間のがんばりを讃え、卒業・進級を祝ってあげています。今年も新型コロナウイルスの影響で、様々な制限がある中でしたが、袋井北小学校、ともえの学校で明るく楽しく過ごし、成長することができるよう、みなさんはとてもよくがんばったと思います。

今年度、学校を訪れたお客様から、うれしくなるお話をたくさん聞きました。その中から二つ紹介します。

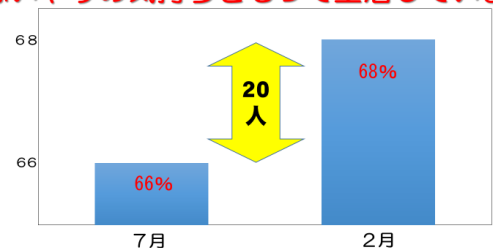
一つ目です。「廊下ですれ違うとき、子どもたちがこんにちとはあいさつしてくれるようになりました。とても気持ちいいです。去年もおはようございますとあいさつしてくれる子はいましたが、笑顔で一日中あいさつしてくれるようになりました。」私も、みなさんのあいさつを聞くと、うれしい気持ちになります。これは、みなさんが「ともえ」の合言葉、「友達を もっともっと 笑顔にしよう」をいつも大切にして生活したので、お客様にも自然とあいさつや笑顔ができるようになったからだと思います。

二つ目です。「最近見た学校の中で、袋井北小の子どもが一番しっかり授業に取り組んでいると思いました。どの教室でも、タブレットを使ってよく考えたり、友達と話し合ったりしながら、真剣に楽しそうに授業に取り組んでいて、すばらしいと思います。」私も、皆さんの授業の様子を見て、同じように感じています。「協働」を大切にすれば、授業は楽しくなり、友達と高め合うことができます。

これらのよさについては、ともえアンケートの結果にも出ています。

「友達を もっともっと 笑顔にしよう」は、アンケート項目の中の「思いやりの気持ちをもって生活しています」につながります。「当てはまる」と「どちらかという当てはまる」と答えた人を合わせると、全校の96%になります。素晴らしいですね。その中の「当てはまる」と答えた人の割合について、7月と2月の結果を比較すると、7月は66%でしたが、12月には68%になりました。2%上がったということは、約20人増えたということです。どの学年も50%を超えています。2月のアンケートで76%の人、4人に3人以上が思いやりの気持ちを強く意識しているという素晴らしい結果が出ている学年もありました。

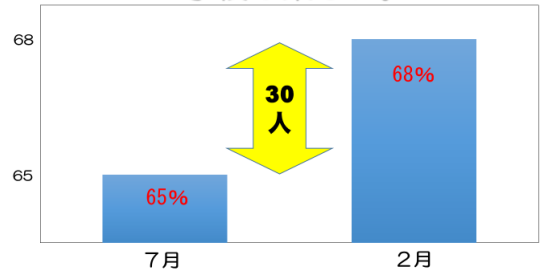
おもいきり 思いやりの気持ちをもって生活しています。



「協働」については、「みんなで何かをするのは楽しい。」というアンケート項目で見ました。「当てはまる」または「どちらかという当てはまる」と答えた人は、全校の96%、ほとんどの子どもが意識していることが分かります。「当てはまる」と答えた人は、7月が79%、12月が82%ですから、3%も上がっています。どの学年も60%以上ですが、4つの学年では80パーセントを超えていました。

みなさんの授業の様子を見ていると、タブレットを活用しながら、よく考えている人や友達と活発に話し合っている人が増えていると感じます。アンケート項目の「授業に主体的に取り組んでいる」で「当てはまる」と「どちらかという当てはまる」と答えた人を合わせると、全校の92%になります。そのうちの「当てはまる」と答えた人の割合を、タブレットを使い始めた去年と比較してみます。去年の2月は42%でしたが、今年2月では7%増えて49%になっていました。

がっこう たの  
学校が楽しい。



そして、これらがんばると、「学校が楽しい」と感じる人が増えます。全校の93%がそう感じていますが、「当てはまる」と答えた人は、7月は65%、2月は68%で3%増えています。どの学年も50%以上ですが、70%を超えている学年も3つありました。

これらの内容は、みなさんが大人に向かって成長するのに、とても大切な内容ですので、これからも、「当てはまる」と

答えられる人が増えるといいなと思っています。そのために、来年度も、「友達をもっともっと笑顔にしよう」「協働」を大切にしていきます。また、先生方も、「ともえ」や「協働」を大切にしながら、楽しい授業づくり、みなさんのよさを認めることなどががんばっていきます。

最後に、春休みに大切にしてほしいことを3つ伝えます。

一つ目、「命はひとつ」大きな事故や病気に気をつけて過ごしてください。

二つ目、一つ上の学年になったら、何をがんばろうか、目標を考えて新しい学年になる準備をしてください。

三つ目、春休みもあいさつと笑顔を大切にしてください。



# 成長を止めない

年度末、子供たちは、それぞれ自分自身と向き合いながら、この一年間でなりたい自分にどれだけ近づいたか振り返って、自分なりの言葉でまとめ、それを「キャリアパスポート」に綴じ込みました。

保護者の皆様には、子供たちが持ち帰ったキャリアパスポートを御覧いただき、コメントの記入をお願いしました。お子さんのキャリアパスポートのファイル、特にこの一年間の振り返りをお読みになってどのようなことを感じられたでしょうか。

高学年のキャリアパスポートをのぞいてみると、子供たちは次のように自分を振り返っていました。

<授業で> 学習面では算数の授業に力を入れた。「まずは自分で考えて」⇒「分からないときは聞く」、という順番で自分の課題を解決した。自主勉強にも積極的に取り組めた。(6年生)

<学校で> ルールを守っていないときが、たまにあった。でも、委員会では5年生のお手本になり、活動のやり方や仕事体験で下級生にやり方を教えてあげることができた。(6年生)

<おうちで> 手伝えることは手伝えました。あと、「手伝う?」と自分から聞くことができました!(5年生)

学年によって、成長の中身も質も、速度も異なります。当然、子供によっても、成長の度合いは違っているはずですが、それでも、確かなことは、どの子も確実に成長しているということ、そして、どの子も「成長したい」という願いをもっているということです。

子供の成長を止めないために、私たち大人にできることは、子供にとってのよりよい環境づくりに努めること、そして、子供のやる気を引き出す「勇気付けのボイスシャワー」を続けていくことだと考えます。子供にとってのよい環境とは、家庭においても学校においても、何より安心できる、自分がまわりの人から愛されている、認められていると感じられる環境です。「勇気付けのボイスシャワー」は、キャリアパスポートの保護者からのコメントにもたくさん見られました。読んでいただけ、心がとっても温かくなります。

・いろいろな場面で、自分でしっかりと目標をたて、それに向かって努力し、頑張る姿をたくさん見ることができた

・1年間でした。この努力は、きっと中学校生活にもつながっていくと思います。持続できるよう頑張ってくださいね。

・自分で考えて行動する力がすごくなってきたように思います。体だけでなく、心も大きくなったなあと思っています。母より

一年間、本校児童の成長を支えてくださった全ての皆様に心より感謝申し上げます。

